

# きょうほれんニュース 2025.8

京都保育団体連絡会 発行

〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町 30-2 ラボール京都 5 階  
TEL075-801-8810 Fax075-822-6220 kyohoren@gmail.com



## 第57回京都保育のつどい 250人を超える参加で大成功！！

ラボールのホールが満員になる大盛況！多くの人が参集し、久々の懐かしい顔ぶれにあちこちで歓声も！ZOOM も良いけれど、やっぱり顔を見合させて共感できるって素敵ですね

午前中は、京保連副会長の藤井豊さんによる基調報告と、絵本作家真珠まりこさんの記念講演。

「真珠さんのお話とてもよかったです。いのちのつながりから世界平和まで、深い深いお話をしました。心に響きました。」とたくさんの感想が寄せられました。



午後からの講座は、機材のトラブル等があり、スタートがバタバタしてしまいましたが、みんなでつくる「京都保育のつどい」です。

今後も続けていけるように…是非皆さんの実行委員会、事務局へのご参加お待ちしています！



## 第57回全国保育団体合同研究集会 IN 群馬

京都からは203名、その内群馬の会場では43名が参加しました。

「“ほっとする”“はっとする”“わくわくする”仲間とともに保育を深めよう。職場に余裕がなくなると、保育を楽しく語ることも難しくなる。じっくり、ゆったりと保育・子育ての楽しさを共有し、そこでのわくわくを明日につなげましょう！」と基調報告では触れられました。来年は兵庫で開催です！京都から1000人組織してきてね！という事です。みなさん一年かけて、参加仲間を増やしましょう！！



## 日本みて歩き その 11 一砂の器・亀嵩一 藤井伸生

映画・砂の器(写真①)は、学生時代に鑑賞し私の心に強く印象を与えたものです。主役は、マスコミで昨今話題になっている中居正広でなく、加藤剛のものです。砂の器は、当時、差別と偏見の対象であったハンセン病の父とその子どもの不幸な歩みを描いた作品です。当時、差別や偏見について大きなインパクトを受け、大学生活の学びの原点に匹敵するものでした。大学教員になって、ハンセン病の療養施設・長島愛生園にゼミの学生と出かけたことも思い出です。

この映画の重要な舞台となった島根県亀嵩(かめだけ)に行ってきました。

東北弁と出雲地方の方言が似通っていて犯人探しが混迷しました。亀嵩の駅舎は現在も存在しており



①



②

(写真②)、鉄道として現役です。駅舎の中には、そば屋さんがあります。おいしくいただきました(写真③)。駅舎には砂の器への思い出話がつづられたノートもあり、胸いっぱいになりました。

砂の器は、ネット等で今でも見れるのではないかと思います。バックミュージックも素晴らしいです。ぜひ一度鑑賞ください。



### 2025 署名スタート集会

~いまこそみんなでいっしょに保育・子育てでこだわりたいことをしゃべりましょう!~

日時:2025年10月3日(金) 19:00~21:00

場所:ラボール京都4階第12会議室 & Zoom

ミーティング ID: 842 9566 4636  
パスコード: 474833

\*会館には駐輪場・駐車場はありません。近隣のコインパーキングをご利用下さい

参加費:無料

おはなし:朴 沙羅さん(京都大学人間・環境学研究科 准教授)

ちいさいなから7月号「がんばらなくても暮らせる場所から考える-ヘルシンキの公立保育園の体験から」で紹介されたお話を聴かせていただきながら、わたしたちの「あたりまえ」の概念を切り替え、「みんなでやること」としての運動について考えるきっかけになれば…と思っています。



誰でも参加できます!  
園長・保護者・職員・各団体からの報告・交流もします  
お父さん・お母さん・子育て応援団のみなさん  
先生達・学生さんも...  
秋からの運動にむけて、  
みんなで学び交流しましょう!

※当日、今年度取り組む署名用紙を持ち帰って頂けます。可能な限りご参集下さい



連絡先: 京都保育団体連絡会  
〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30-2 ラボール京都5階  
TEL 075-801-8810 Fax 075-822-6220 mail [kyohoren@gmail.com](mailto:kyohoren@gmail.com)

※ みなさん、今から予定にいれておいてくださいね!